

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年4月13日発行

— 2017.4.3～2017.4.9—第14週—

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第11週	第12週	第13週	第14週
水痘	1 0.20	3 0.30	2 0.40			5 1.00	1 0.50	10 0.37	22 0.37	393	○	○	○	レ
流行性耳下腺炎	3 0.60	5 0.50	1 0.20					6 0.22	15 0.25	157				
百日咳									0 0	4				
感染性胃腸炎	33 6.60	31 3.10	15 3.00	19 9.50	4 1.33	8 1.60		199 7.37	309 5.24	3,028	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.2							1 0.04	2 0.03	17				
伝染性紅斑		1 0.10						1 0.04	2 0.03	29				
突発性発しん	3 0.60	8 0.80	7 1.40	1 0.50	2 0.67	1 0.20	1 0.50	16 0.59	39 0.66	379	○	○	○	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	7				
インフルエンザ	52 6.50	28 1.87	101 12.63	21 7.00	40 8.00	75 9.38	34 8.50	152 3.45	503 5.29	24,786	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱		5 0.50				1 0.20		13 0.48	19 0.32	240	○	レ		
流行性角結膜炎	1 1.00		1 1.00					2 0.33	4 0.33	35				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19 3.80	14 1.40	8 1.60	4 2.00	2 0.67	18 3.60		40 1.48	105 1.78	2,275	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	3 3.00					4 0.33	80				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	3 0.60	3 0.30		1 0.50	1 0.33	1 0.20		2 0.07	11 0.19	120				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1 1.00	6 1.20	7 0.58	24				
拡張疾病	6	1				2		3						
不明発疹症														

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 9例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 女性1名  
気仙沼管内 女性1名  
仙台管内 女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: E型肝炎

仙台管内 男性1名

5類感染症: ウイルス性肝炎

仙台管内 女性1名  
梅毒  
塩釜管内 男性1名(第12週)  
仙台管内 男性1名

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

咽頭結膜熱患者より

登米管内 第12週採取分 アデノウイルス5型 1件  
第12週、第13週採取分 アデノウイルス3型 2件

インフルエンザ患者より

石巻管内 第11週、第12週採取分 インフルエンザウイルスAH3型 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第11週採取分 (3.13～3.19)	第12週採取分 (3.20～3.26)	第13週採取分 (3.27～4.2)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	1件	0件	0件
インフルエンザウイルスA(H3)	1件	3件	0件
インフルエンザウイルスB	1件	0件	0件
RSウイルス	2件	0件	2件
アデノウイルス	3件	0件	3件
サイトメガロウイルス	2件	0件	0件
バラインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

大崎管内で警報継続中

## 4. 今週のコメント

### 【アデノウイルス】

アデノウイルス感染症は、特に夏季中心に流行するとされていますが、冬季にも咽頭結膜熱からのアデノウイルスが検出されることがあります。うがい、手洗いなどの予防対策に努めましょう。

### 【E型肝炎】

E型肝炎は、E型肝炎ウイルス(HEV)に汚染された食物や水の摂取で感染し、症状は黄疸など肝機能悪化や腹痛などです。まれに劇症化し、致死率は、妊婦が感染すると20%に達することがあります。全国の発生動向調査による患者報告数は、2015年に212人、2016年に356人で、近年増加傾向がみられます。感染予防には、手洗いと飲食物の加熱が有効で、特に豚やジビエ(野生鳥獣)の肉・内臓を食べる際は十分に加熱することが大切です。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

